

太陽のように輝き 雲のようにたおやかに

津山商工会議所 女性会だより



津山商工会議所女性会
会長 中山 須美子

女性会の発足時からの社会情勢を振り返ると、時代は大きく移り変わりました。その間、私たち女性会は社会の変遷の中、変わらず事業を続けて参りました。けれども今、当女性会も現状にあった運営・事業をしていかなければならない時期を迎えております。

その新たな事業として二十六年度には、三枝成彰氏をお招きして、「三枝成彰・オペラ『KAMIKAZE―神風―』DVD鑑賞会」を企画致します。

物品販売による地域貢献も大切ですが、只今の状況を見ますと精神的な疲労感を感じておられる方が大変多く、元気な心を育てる為の力を注ぐ事が必要と感じ、この作品に取り組みました。

テーマは『未来に繋げよう/世界平和と人間の尊厳』生き生きとした良い精神が豊かな心を保ち、元気な地域を生み出します。ひいては良い商売に繋がります。

どうぞ皆様、ご理解の上総力を挙げてのご協力をよろしくお願いいたします。



総務委員会

平成二十六年一月十日(金)、新しい年を迎え、気持も新たに女性会「新年懇親会」を開催しました。



発行所
津山商工会議所
女性会
津山市山下30の9
電話(0868)22-3141(代)

発行人 中山須美子
題字 鍋島 和子



親睦委員会



須江担当副会頭を囲み…

牧野会頭をはじめ来賓の方々をお招きし、会員三十八名が参加。会員の奏でる琴の調べで始まり、牧野会頭から「経済が上昇しており、今年も株価は上がる予想」と、一年のスタートに相応しい景気の良い



広報委員会



「マイマイマイ津山」合唱

いお話をいただきました。祝宴では、新年の趣向を凝らした料理をいただきましたながら、三委員会が知恵をしばった余興を互いに披露し、今年一年頑張る英気を養う楽しいひと時を過ごしました。

岡山県商工会議所女性会連合会
第十一回会員大会開催

八月二十七日(水)



ホテルグ
ランヴィア
岡山に於い
て、会員大
会が開催さ
れ、津山か
ら十七名が

参加しました。各女性会から
県に対して「各地域の発展と
魅力ある岡山県づくり」を願
い、提言を行い力添えをお願
いしました。
記念講演では、伊原木隆太
岡山県知事より、教育につい
て、子供が未来に意欲の持て
る環境づくりをしていく事。



産業振興について、岡山県民
の所得を上げる工業の発展に
力を注ぎたい。との熱い思い
を聴きました。

続いて歓談では、東日本大
震災後、子供達への原発事故
の影響を心配して岡山に移住
された、津軽三味線師範 蝦
名宇摩様の演奏の中、各女性
会の会員の方と親睦を深め、
井原の「ゆるキャラ」「でん
ちゅうくん」に見送られ会場
を後にしました。

小さな親切運動
「ヘクリン作戦」

九月八日(日)



雨で延
期になっ
たクリー
ン作戦、
この日も
天候が危
ぶまれる
中、朝に
なると雨
も上がり、
何とか決行出来ました。
女性会からは、十七名の会
員が参加、鶴山通りの落ち葉
やゴミなどを拾い集め、一時
間ほどできれいに掃除が出来
ました。皆さま大変お疲れ様
でした。

第四十五回全国商工会議所
女性会連合会宮城大会参加

九月五日(休)～六日(金)



津山女性
会からは中
山会長をは
じめ十三名
が参加。仙
台空港に降
り立つと、
現地の語り

部タクシーの運転手さんから
名取市閑上地区に案内され
「ここまで水に浸かった」と
被災したままの家々、たくさ
んの瓦礫を目の当たりにし当
時の話を聞き、あまりの悲惨
さに胸が詰る思いでした。復
興にはまだまだ時間がかかる
事を実感しました。



大会は全国から三四九一名
が集い、全女連の吉川会長か
らは全国大会が被災地宮城で
出来たことのお礼がありまし
た。大会の中で、女性起業家
大賞・全商女性会連合会表彰
の授与式があり、当会の前副
会長赤松幸子さんが特別功労
賞を受賞されました。



記念講演は、東北大学加齢
医学研究所教授川島隆太氏に
よる演題『脳を知り、脳を育
み、脳を鍛える』を拝聴しま
した。「大切なのは脳の前頭
前野を鍛えること。体を鍛え、
脳を使い、バランスの取れた栄

養、人と精神的に習慣的に関
わるのが良い」とのトレーニン
グを交えた楽しい講演でした。

津山情緒保存会
「女性会踊り連」参加

十月 六日(日)
二十七日(日)

国際ロータリー地区大会に
女性会から十五名、津山まつ
りに十二名が参加協力し、華
をそえました。



「市民と市長のふれあい トーク」に参加

——十月三日(木)

当女性会は『市民と市長のふれあいトーク』に参加を申込み、津山市役所庁議室にて、当会から正副会長、田中顧問、難波広報委員長の六名、市側より宮地市長をはじめ八名の部課長に参加いただき、観光をテーマに意見交換会を行いました。



女性会より、観光振興の取り組み、津山ゆかりの洋学者の全国発信、JR津山線の利用促進など、六項目の要望、質問をしたところ、その都度答弁をいただき、一時間と短い時間でしたが、有意義な会となりました。

最後に、今後の津山市をどのような街にして行きたいかという質問に対し、市長より、一部の権力者に左右されないしがらみのない行政、各産業の振興を図り、街に人があふれにぎわいのある街づくりを目指すとのことのお答えをいただきました。

つやま地域産品まつり 「紅葉カフェ」出店

——十一月二十三日(土)
二十四日(日)

紅葉が見頃を迎えた津山城(鶴山公園)で岡山県北一帯の美味しいグルメが大集合するイベント「ご当地グルメ・フェスティバル」が開催されました。

両日とも天候にめぐまれ、女性会も恒例の「紅葉カフェ」を出店。日差しからロールケーキを守るために四苦八苦しながら、津山ロール、ケーキセツト、コーヒードリンク、ぜんざい等を



販売し、お陰さまで大勢のお客様に買って頂きました。また、

「津山城探訪ツアー」や「美作国大茶華会」

も同時開催され、美味しいものには目がないメンバーのいるテント内は、ご当地グルメで買った品物で溢れかえり、いつもながら大いに地域に貢献する女性会です。
女性会のテント場所は元動物園の跡地で「ここはペンギンのいたところだったなあ〜」懐かしいいわ〜」などと当時を懐かしむ話も聞こえていました。

新入会員懇談会

——七月二日(火)

新入会員十名と正副会長ほか十五名の出席で開催されました。昼食をいただきながらフリートーク、はじめに自己紹介、女性会活動についての説明を行い、活発な意見交換が交わされました。今後の理事会活動に反映されることと思っております。



岡山県商工会議所女性会連合会 女性起業家との交流会

——二月二十一日(金)

岡山県下十二女性会で構成される岡山県商工会議所女性会連合会の平成二十五年度事業として「女性起業家との交流会」が岡山商工会議所を会場に開催され、当女性会から貸切バスにて十四名が参加、総勢約百三十名が参加しました。

記念講演は、第十一回全国女性起業家大賞を受賞した広島県の(株)カエルカンパニー代表取締役 岡崎美紀子氏を講



師にお迎えし、起業までの苦労や、社名をいかに覚えやすく、印象付けるか、また「〇〇にかえる」という意味を込め、カエルと名付けたことなどをお話しいただきました。



続いて五会議所の女性起業家のプレゼンテーションがあり、津山からは、会員の日名川さん(作州餅工房ひな屋)が、一度廃れた作州餅を岡山県の工芸品に認定されるまでや、現在の取り組み等をスライドを使いながら発表し、参加者は興味深く聞き入っていました。

その後、お茶とケーキを立食でいただきながら名刺交換会があり、県下の女性会の皆さんと交流を深める有意義な一日を過ごしました。

美作国建国一三〇〇年記念

女性会チャリティーバザー開催

十二月六日(金)



恒例のチャリティーバザーを開催。今年は大正三〇年記念の年。バザーも「美作国建国一三〇〇年記念チャリティーバザー」とし、先着一〇〇名様に一三〇〇年記念の祝い餅を進呈。会議所議員の皆様にも協力をお願いし、例年以上に多くの品数を揃える事が出来ました。当日のバザー会場は大勢の人で埋めつくされ、喫茶コーナー、鉢花コーナー、日用雑貨、セカンド衣料、食料品、手作りパン、赤飯などなど。その他、杵つき餅の実演販売、焼きいも販売、取れ立て地元野菜の売出し等、大変盛況のうちに約一時間余りで無事終了することが出来ました。

ご協力いただきました市民の皆様、会議所議員の皆様には心より感謝申し上げます。有難うございました。

収益金から市営駐車場鶴山通り側への植樹と津山城鶴山公園の整備に役立てていただけるよう「さくら基金」へ寄付をさせていただきます。

春を待つ笑顔の花咲く



新入会員を募集しています

異業種の人達と親睦を深め仲間と研鑽を積みませんか

【お問い合わせ】 津山商工会議所女性会事務局
TEL (0868) 22-3141

『女性会ホームページ』を是非ご覧下さい。

URL <http://tsuyama-joseikai.org/>

もしくは、津山商工会議所のHPから女性会をクリック

編集後記

『第八十九号女性会だより』今回もたくさんの方の笑顔いっぱい活動を掲載することが出来ました。今期はたくさんの方の新しい会員を迎えることができました。紙面を通じて女性会会員の活躍の様子を見て頂き、今後の活動に活かして欲しいと思います。これからも皆様に関心、頑張っていきたいと思っております。ご協力ありがとうございます。

広報委員会一同